

令和4年1月 定例教育委員会会議録

開催日	令和4年1月20日(木)										
開催場所	半田市役所 会議室305										
出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育長 鈴川慶光</td> <td style="width: 50%;">委員 新美大</td> </tr> <tr> <td>委員 榊原肇</td> <td>委員 正村日登美</td> </tr> <tr> <td>委員 桂優子</td> <td></td> </tr> </table>	教育長 鈴川慶光	委員 新美大	委員 榊原肇	委員 正村日登美	委員 桂優子					
教育長 鈴川慶光	委員 新美大										
委員 榊原肇	委員 正村日登美										
委員 桂優子											
説明のため出席した職員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育部長 岩橋平武</td> <td style="width: 50%;">学校教育課長 森田知幸</td> </tr> <tr> <td>主任指導主事 鈴木康弘</td> <td>指導主事 神野真輔</td> </tr> <tr> <td>給食センター所長 前田成久</td> <td>生涯学習課長 新美恭子</td> </tr> <tr> <td>図書館長 山下由美</td> <td>博物館長 関正樹</td> </tr> <tr> <td>南吉記念館長 遠山光嗣</td> <td></td> </tr> </table>	教育部長 岩橋平武	学校教育課長 森田知幸	主任指導主事 鈴木康弘	指導主事 神野真輔	給食センター所長 前田成久	生涯学習課長 新美恭子	図書館長 山下由美	博物館長 関正樹	南吉記念館長 遠山光嗣	
教育部長 岩橋平武	学校教育課長 森田知幸										
主任指導主事 鈴木康弘	指導主事 神野真輔										
給食センター所長 前田成久	生涯学習課長 新美恭子										
図書館長 山下由美	博物館長 関正樹										
南吉記念館長 遠山光嗣											
事務局	学校教育課総務担当主査 後藤 友紀子										
協議事項	(1) 半田市高等学校等入学準備補助金交付要綱の制定について										
報告事項	<p>(1) 令和3年度学校訪問・園訪問のまとめについて</p> <p>(2) 令和3年度半田市教育委員会表彰について</p> <p>(3) 寄附、後援願等について</p> <p>(4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p> <p>(5) 各種事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">①「図書館で学ぶ介護予防講座」について</p> <p style="margin-left: 20px;">②「大人のための図書館・博物館探検ツアー」について</p> <p style="margin-left: 20px;">③「としよかんまつり」について</p> <p style="margin-left: 20px;">④「親子で楽しむクラシック」について</p> <p style="margin-left: 20px;">⑤「親子で落語を聞こう会」について</p> <p style="margin-left: 20px;">⑥「大人のための図書館活用講座」について</p> <p style="margin-left: 20px;">⑦「亀崎図書館・人形劇」について</p> <p style="margin-left: 20px;">⑧文学講座「新美南吉はなぜ故郷を舞台に児童文学を書いたのか？」の開催について</p>										
各課事務連絡	学校教育課、生涯学習課、博物館										

〈 開会 10時00分 〉

1. 前回の会議録の承認	<p>(事務局)</p> <p>12月定例会の会議録について概要説明 → 2カ所文言修正の上、承認</p>
2. 教育長報告	<p>(教育長)</p> <p>・新型コロナウイルスに関する状況としては、3学期に入り、市内小中幼において急激に濃厚接触者、陽性報告が増加している。新聞報道された通り、1クラスにおいて複数の陽性報告が生じたことから、学級閉鎖となった学校も生じている。各校・園において感染症対策を強化し、更なる拡大に繋がらないように努めたい。</p> <p>・12月25日、市内5高等学校が中心となり半田市キャリア Day が開催された。各</p>

	<p>校の代表生徒や卒業生が学校紹介を行っていた。会には、保護者、生徒が 200 人程参加していた。本市教育委員会としては、キャリア教育を取組んでいることからその一環として今後は、特別支援学校の参加を含め、この会を続けていきたいと思う。</p> <p>・1月9日、成人式が開催された。立派な式であり、大変良い雰囲気であったと感じている。</p> <p>・1月19日、第2次知教委面談があり、次年度における人事異動に関する報告を知多教育事務所から受けた。なお、各校長には、明日(21日)に予定されている校長面談にて、知多教育事務所が報告を行う予定である。</p>
<p>協議事項</p> <p>1) 半田市高等学校等入学準備補助金交付要綱の制定について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>本市では、これまで私立高等学校等に在籍する生徒の保護者等に対して、経済的負担の軽減を図ることを目的に授業料負担の軽減を行ってきたが、令和2年度から国と愛知県における授業料軽減制度が改正され、私立と公立における授業料負担の格差が改善されることとなった。このことに伴い、現行制度を見直し、新たに高等学校等に就学する生徒の保護者負担を軽減することを目的として、準要保護支給認定を受けている者に対し、私立公立に関わらず準備を補助する制度を制定したいとするものである。</p> <p>なお、交付額は、生徒1名につき2万円。施行期日は、令和4年2月1日からとし、令和4年度入学生から適応できるようにしたいとするものである。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>準要保護に該当する生徒は、どのくらいいるのか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>1学年のうち、約1割(約100人)である。</p> <p>(新美委員)</p> <p>現行制度での交付は、どのようになっているのか教えてほしい。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>現行制度においても所得制限があり、対象者に交付されている。</p> <p>(教育長)</p> <p>本要綱制定については、修正なしとして制定してよいか。</p> <p>(全委員)</p> <p>異議なし。</p>
<p>報告事項</p> <p>1) 令和3年度学校訪問・園訪問のまとめについて</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>①学校訪問のまとめ</p> <p>訪問計画の立案及び訪問の方法については、教職員の働き方改革への意識の高揚を図るため、休憩時間を確保できるよう勤務時間や休憩時間を考慮して計画を立案してもらった。今後も、休憩時間が確保できるように立案していく必要がある。</p> <p>公開授業については、タブレット端末をはじめICT機器を活用した授業実践が多くみられ、学校全体で新たな学習スタイルを模索している様子うかがえた。また、児童生徒が操作に慣れている様子もうかがえた。一方、なぜタブレット端末を使うのか疑問を感じる場面も多く、タブレット端末を使うことが目的になっていると感じる授業実践も散見さ</p>

れた。また、新しい学習指導要領の基本理念である「主体的・対話的で深い学び」を意識した実践が進められていた。一方、自分の意見や考えをもつための工夫や時間の確保が十分でない、流れでの意見交換や何について話し合えばよいのか、視点が明確になっていない活動の様子も見られた。ねらいを達成するために、なぜICT機器を使うのか、なぜ話し合いを行うのか、その目的を明確にして授業を作り上げる力がこれまで以上に求められることになることから、よい事例の紹介や研修の場の設定など、各校と連携しながら進めていきたい。

特設授業については、児童生徒の実態をよくとらえたうえで、担任の思いや願いが表現されており、それが学習過程の工夫や手立てに表現されている授業が多かった。一方、現職教育の研究の論が具体的でないために、何を検証している授業なのか曖昧になり、手立てが曖昧であったりする場面が見られた。今後は、一人一人の授業力向上のため、よい事例の紹介や研修の場の設定など、各校と連携しながら進めていきたい。

諸帳簿については、指導日案や養護教諭執務記録簿については、四役が丁寧にコメントを入れている学校が多く、少経験者や一人職である養護教諭の指導上の悩みや問題点を管理職が把握し、支援やアドバイスに繋げることができていた。また、児童生徒の個人記録のデータ化、学級経営案の評価項目や記載内容の精選など各学校における業務改善への工夫が見られた。一方、特別な支援が必要な児童生徒に対する個別の支援計画や指導計画は、ねらいや手立てが十分に検討されているか疑問に感じるものが多かった。個に合った具体的な目標、手立て、指導が行われるようにしていきたい。

研究協議については、模造紙やタブレットなどを活用し、話し合いの成果を形として残している学校が多く、訪問後の授業改善に生かすことができたと感じた。また、初任者や少経験者からの発言も多く、活発な議論がされている学校ばかりであった。日頃からの教員同士の風通しのよい人間関係を感じることもできた。今後は、研究協議で明らかになった新たな課題や問題を、次の授業者に引き継ぎ、学校全体で研究を深めていけるような研究協議会にしたい。

その他、特別活動、生徒指導、健康教育などについては、どの学校も不登校傾向の児童生徒に対して、様々な手立てを講じて指導・支援をしていた。また、小学校よりも中学校の方が、廊下ですれ違う子どもとの挨拶がしっかりしている印象を受けた。中学校がどんな取組みをしているのか参考にするとうれしかった。学校訪問において、中学校区での授業参観による交流が積極的に行われており、この関係性を生かして、互いの取組みについての理解を深め、さらに、幼稚園や保育園、高等学校や県立特別支援学校とも授業参観の交流がより積極的に行われるとうれしかった。

②幼稚園訪問のまとめ

訪問計画の立案及び訪問方法については、事前打合せで、現職教育の取組みについて話し合い、明らかにしていきたい方向を確認することができた。一方、当日の協議を有意義な時間とするため、協議の視点や進行方法を確認、整理する重要性を感じた。

公開保育では、一人一人と全体でのねらいをもち、環境を通しての指導に重点を置き保育を展開している園が多かった。また、特別に支援が必要な園児についても加配教諭と連携して丁寧に支援を行っていた。

特設保育については、現職教育につながるねらいを具現化するために、活動や環境、援助のとらえ方を深めた計画案を立てて、丁寧に保育の準備が進められていた。園

児たちの興味関心を大切に、当日のねらいに向けて経験が重なっていくように考えられていた。一方、全職員が参観できるように園児の登園時間に差をつけていたが、保護者の就労状況等を考慮して参観の方法について検討していく必要を感じた。

諸帳簿については、週案・日案の毎日の評価・反省については、明日の保育につながるための視点を明確に記載できていた。健康管理や学籍・指導の記録などは、今後、徐々に、ICTを活用した体制作りを進めていく必要を感じた。

研究協議については、教師一人一人が参加する意識が高く、テーマに合わせた自分の考えを積極的に発言する姿が多く、多面的なとらえ方で保育、テーマについて深めることができた。今後は、研究協議の中で、全員で共通理解したことや考え合ったこと、学び合ったことが、日々の保育や現職教育につながるように、各園で振り返りの時間を工夫するとよいと感じた。

コロナ禍で活動に制限がある中、どの学校、園も工夫して様々な取り組みを行い、教育活動を進めていた。

(正村委員)

記載の「授業参観による交流」について、どのようなことか教えてほしい。

(主任指導主事)

小学校教員が中学校の授業を参観するといった教職員間における授業参観のことである。今後は、小中学校のみでなく、幼稚園教諭も含め交流を深めていきたいと考えている。

(榊原委員)

各校には、どのように対応しているのか。

(主任指導主事)

各校には、市教育委員会から学校毎に指導を行っている。なお、5市5町の学校・園訪問の状況をまとめたものは、知教協から各校に配付されることになる。

(新美委員)

学校訪問を通じて、予想していた以上に児童生徒がうまくタブレットを操作していた印象が強いが、他市町のタブレットの使用状況を教えてほしい。

(主任指導主事)

管内市町の使用状況としては、ほぼ本市と同じ状況であるが、授業以外においてタブレットを使用する機会が増加傾向にある。ただし、学校間においてタブレットの使用頻度に差が生じ始めているので、そのことが課題であると感じている。

(桂委員)

学校訪問における全体会を通じて協議された内容が次に繋がるようにしていただきたいと思う。

(主任指導主事)

指摘のとおりであり、各校、改善点となる課題については、しっかり把握するとともに、次に繋げていけるように改善に取り組んでいる。

<p>2) 令和3年度 半田市教育委員会表彰について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>令和3年度半田市教育委員会表彰は、各学校から具申があったものについて、12月24日に表彰審査会を開催し、選考基準に基づき審査した結果、個人128名、5団体を選考した。</p> <p>なお、今年度の表彰式は、愛知県まん延防止等重点措置の実施に伴い、表彰式の開催を中止する。賞状及び記念品等は、学校等を通じ受賞者に配付する。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>3) 寄附、後援願等について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2件の寄附。 (内訳：2件は、博物館資料充実のためとして掛軸、彫刻等の寄附。) ・8件(うち、3件が新規)の後援名義を許可。 <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和3年12月21日～令和4年1月17日の交通事故・問題行動等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通事故：2件 12月22日(水)1件 1月12日(水)1件 ○児童生徒の問題行動(被害等)：1件 12月22日(水)1件 ○交通事故以外の事故：1件 12月22日(水)1件 ○学校等被害等：なし ○不審者情報：1件 12月25日(土)1件 <p>(正村委員)</p> <p>情報が溢れている社会であるため、異性への興味を抱くことはあるかもしれないが、単なる興味本位として捉えるだけではなく、児童生徒の様子を教職員も注意深くみていただきたいと思う。</p> <p>(指導主事)</p> <p>見守りをしつつ、必要に応じ、スクールカウンセラー等にも繋げていきたい。</p>
<p>5) 各種事業について</p>	<p>(図書館長)</p> <p>①「図書館で学ぶ介護予防講座」について</p> <p>本市との『地域包括ケアの推進にかかる連携協定』提携企業である株式会社スギ薬局に協力いただくもので、スギ薬局の管理栄養士に講師を依頼し、介護予防や免疫力向上に役立つお話を伺う。併せて、図書館司書が関連図書の紹介を行う。2月</p>

19日(土)10時30分から、図書館2階第1会議室で開催。定員20名で、2月8日(火)から申し込みを受け付ける。

② 「大人のための図書館・博物館探検ツアー」について

図書館・博物館の共催事業で、普段は入れない図書館の書庫や、博物館の収蔵庫を見学する。今回は例年とは少し趣向を変え、中学生以上を対象とした大人向けのものとして実施する。2月20日(日)14時から、定員は20名。2月9日(水)から申し込みを受け付ける。

③ 「としょかんまつり」について

亀崎図書館で開催したものと同様に、午前・午後の2部制とし、読み聞かせやストーリーテリングの鑑賞、録音体験やメモ帳づくりなどを行う。3月5日(土)に図書館本館2階で開催。午前の部は11時からで小さなお子さんを対象としたもの、午後の部は13時30分からで対象を限定しない。事前申込制で定員は各20名、応募者多数の場合は抽選。申込期間は、2月4日(金)から11日(金)まで。

④ 「親子で楽しむクラシック」について

「半田市音楽文化振興に関する協定」に基づく事業で、子どもから楽しめるクラシック音楽をセントラル愛知交響楽団音楽主幹 山本雅士氏の解説と金城学院大学生リリー・ミューズの演奏で家族一緒に楽しんでいただく。司書が図書館の本やCDの紹介も行う。3月19日(土)に図書館本館2階で開催。定員は40名、2月16日(水)から申し込みを受け付ける。

⑤ 「親子で落語を聞こう会」について

日本の伝統的な話芸である落語を、老若男女を問わず楽しんでいただくもの。3月12日(土)11時から図書館本館2階で開催。出演は、半田大衆演芸クラブの槍田家志よ朝氏他、定員は40名、2月24日(木)から申し込みを受け付ける。

⑥ 「大人のための図書館活用講座」について

図書館が所蔵している資料の内容や使い方について、図書館司書が解説するもので、3月21日(祝・月)の10時30分から図書館本館2階第1会議室で開催する。対象は15歳以上で定員は20名、2月24日(木)から申し込みを受け付ける。

⑦ 「亀崎図書館・人形劇」について

3月13日(日)の14時から亀崎公民館ホールで開催。公民館ホールという身近な場所で、小さなお子さんから大人まで一緒に人形劇を観劇する。出演は人形劇団グループ。定員は50名、2月11日(祝)から18日(金)まで申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選となる。

なお、いずれの事業についても新型コロナウイルス感染状況により、中止となる場合がある。

(榊原委員)

事業中止の周知方法について教えてほしい。

(図書館長)

中止の際には、申込者に対し、改めて電話連絡を行う予定である。

	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>2月20日(日)に文学講座「新美南吉はなぜ故郷を舞台に児童文学を書いたのか?」を開催する。内容はそのタイトルの通りで、なぜ南吉は故郷の岩滑を舞台に、大人の文学ではなく児童文学を書いたのか。単に故郷や子どもが好きというだけではない南吉ならではの理由を探るというものである。本講座は、令和元年度3月に企画したが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となり、60人以上の予約者が受講できなかったので再度開催するもの。会場はアイプラザ半田小ホール。</p> <p>(新美委員)</p> <p>新美南吉生誕110年ロゴマーク募集の記事が新聞に掲載されていたが、どのような場合に使用していくのか教えてほしい。</p> <p>(新美南吉記念館長)</p> <p>新聞に掲載されたことにより、生誕110年に関する周知に繋がったと感じている。ロゴマークについては、本市公式行事での使用のみならず、民間の事業にも使用をいただくことで新美南吉の発信に繋げていく予定である。</p> <p>(新美委員)</p> <p>新美南吉に関係なくても使用が可能になるのか。</p> <p>(新美南吉記念館長)</p> <p>使用方法については、再度検討したいと思う。</p>
各課から事務連絡	<p>(生涯学習課長)</p> <p>わたしはピアニストに関するお知らせである。本企画は、大ホールの空いている時にピアノを弾いていただくものであり、3月30日(水)に実施することが決定したのでお知らせする。今回は、60分間自由にピアノを弾いていただく枠と、ピアノを弾いたことがない方にセントラル愛知の楽団員から助言をいただきながら15分間ピアノに触れていただく枠を設け、ピアノに触れる機会を提供する内容となっている。</p> <p>次に、成人式についてである。令和4年度から成人年齢が18歳に引き下げられることに伴い、次年度からは「二十歳の集い」として20歳を迎える年度に実施することをお知らせしている。現時点の案としては、令和5年1月8日(日)11時30分から、これまでの成人式の開催時間と同様に実施することを予定している。内容については、実行委員会を立ち上げ、進めていく予定であるが、次年度の開催まで1年未満となったため、開催方法として日程や開催内容について委員から意見・助言等を伺いたい。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>今年よかったとされる点を教えてほしい。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>過去には、式が開催されても会場内に入ることができなかつたり、会場内がざわついたままであったりしていた。そのような過去の様子を比較すると、大変穏やかな式であったと感じている。</p>

	<p>(新美委員) 20歳という年齢を考慮すると職員がいろいろ携わることについて疑問を感じる。そのため、実行委員会に当日までの準備を担っていただくことも検討しても良いのではないかと考える。</p> <p>(生涯学習課長) 当日は、新成人による実行委員や当日スタッフにも携わってもらっているが、施設の管理上必要であることから教育委員会の職員が関わっている。</p> <p>(博物館長) 図書館・博物館の喫茶コーナーについては、現在休止中となっているが、このたび、市報2月1日号にて公募を行うことになったため、お知らせする。応募期間は、3月1日までとなっており、新年度5月連休明けから喫茶コーナーが再開できればと考えている。</p> <p>(主任指導主事) 学級閉鎖となった学級への対応について報告させていただく。 学級閉鎖中は、児童がタブレットを持ち帰り、毎朝の検温結果と健康状態を学校に報告するとともに、担任からは、毎朝児童に対し、学習課題の連絡を行っている。児童はタブレットを活用して自己学習を進め、出された課題を提出することで担任は児童の学習の理解度を確認している。また、閉鎖中に担任からビデオレターを送るとともに、電話連絡を行い、児童の自宅での生活状態を確認などの対応をしている。</p> <p>(新美委員) 自宅でタブレットを使用できない環境の児童はいるのか。</p> <p>(主任指導主事) 使用できない環境の児童には、Wi-Fiを貸出し対応しているので全児童タブレット使用が可能となっている。</p>
教育委員からの意見提言等	<p>(榊原委員) 適応指導教室（ビーナスルーム）について具体的に教えてほしい。</p> <p>(指導主事) 現在開設している適応指導教室（マーキュリールーム）以外に新設された教室である。不登校者数の増加に伴い、令和3年10月から試験的に亀崎公民館2階和室にビーナスルームとして新設し、週2回(火・金)9時から12時まで実施している。令和4年度からは、週4回(火・水・木・金)として対応できるようにする予定である。なお、利用については、適応指導教室への利用申請を行うことにより、どちらのルームにも利用できるものとしている。</p> <p>(榊原委員) 校内フリースクール開設に関する他市の記事を読んだが、どのようなものなのか教えてほしい。</p> <p>(指導主事) 在籍するクラスには通うことができないが、校内に生徒児童の居場所として利用するス</p>

	<p>ペースのことであり、本市では「別室」と呼んでいる場所が該当すると考える。市内では、現在、半田、乙川、成岩中学校に用意されており、その場所では、主に個別学習を行っている。</p> <p>(榊原委員) このことを踏まえ、地域の人に関りについてどのように考えると良いのか。</p> <p>(指導主事) 地域に支援していただける方が存在するならば、児童生徒にとっては、教職員との繋がりのみでなく、地域の方との繋がりができることにより、社会性を身につけることにも繋がると考える。そのためにもコミュニティ・スクール活動のひとつとして支援していただければと思うし、協力をお願いしたい。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局) 次回の定例教育委員会は 2月18日(木)10時～ 会場：半田市役所 4階 402 会議室 次々回の臨時教育委員会は 3月4日(金)13時30分～ 会場：半田市役所 4階 402 会議室</p> <p>1月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時55分 〉